

鳥取縣公報

縣令

第九百六十一號

昭和十三年九月九日

金曜日

◇鳥取縣令第四十三號

自作農創設維持獎勵規程中左ノ通改正ス

昭和十三年九月九日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

第五條第七號但書及第六條第六號但書中「夫々四千圓」ノ下ニ「知事ノ特ニ定ムル自作農創設維持事業ニ付テハ六千圓」ヲ加フ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◇鳥取縣令第四十四號

自作農創設維持獎勵規程第五條第七號及第六條第六號ノ特ニ定ムル自作農創設維持ノ事業ニ關スル件左ノ通定ム

昭和十三年九月九日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

「コレラ」豫防ニ關スル八月一日山梨縣令第二十八號ハ八月二十五日同縣令第三十九號ヲ以テ之ヲ廢止ノ旨山梨縣ヨリ通報アリタリ

昭和十三年九月九日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

鳥取縣告示第五百三十號

鳥取 倉吉 財務出張所内ニ於ケル左記ノ者ニ對シ縣稅檢査章返納並交付セリ
米子 昭和十三年九月九日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

鳥取財務出張所内

區分	年 月 日	番 號	所 屬 廳	職 名	氏 名
交付	昭和十三年八月二十八日	第三一號	鳥取財務出張所	縣書記	米村 文治郎
返納	昭和十三年八月二十四日	第一一號	同	同	岸本 政嘉
倉吉財務出張所内					
區分	年 月 日	番 號	所 屬 廳	職 名	氏 名
返納	昭和十三年八月三十日	第五四號	倉吉財務出張所	縣書記	小林 二郎
米子財務出張所					

鳥取縣告示第五百三十一號

最近技術者ノ拂底甚シク鑛工關係學校卒業者數ニ對シ其ノ需要ハ數倍ニ達スルノ狀況ニ在ルノミナラズ逐年増加ノ趨勢ヲ示シ軍需生産力擴充ノ緊要性ニ鑑ミ其ノ配置ヲ適止ナラシムル爲今般政府ニ於テハ國家總動員法第六條ノ規定ニ基キ昭和十三年八月二十四日勅令第五百九十九號ヲ以テ學校卒業者使用制限令公布即日施行セラルルコトナリタルヲ以テ厚生大臣ノ指定スル大學、專門學校、實業學校、其ノ他之ニ準ズベキ各種學校ニ於テ厚生大臣ノ指定スル學科ヲ修メ其ノ學校ヲ使用制限令施行後ニ於テ卒業スル者ヲ雇傭契約ニ基キ使用セントスル者ハ左ノ諸項ニ付特ニ留意シ昭和十三年八月二十四日勅令第五百九十九號同月二十六日厚生省令第二三號同日厚生省告示第百十九號第百二十號ニ依リ卒業者ノ卒業ノ前年九月末日迄ニ申請シ厚生大臣ノ認可ヲ受クベシ

昭和十三年九月九日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

- 一 本申請ニ當リテハ總テ本文記載ノ勅令省令告示ヲ理解シ萬遺憾ナキヲ期スルコト
- 二 申請者ハ申請書用紙ノ必要部數ヲ縣ニ申出ルコト
- 三 右用紙ハ縣ヨリ頒布スルニ付之ヲ使用スルコト

00471

- 四 申請書ハ正副二通作成シ之ヲ一括シテ直接厚生省職業部長宛親展扱トシテ提出スルコト
- 五 申請者ハ九月末日迄ニ厚生省ニ到着スル様提出スルコト
- 六 申請書ハ學校卒業者ヲ勤務セシムベキ工場事業場又ハ事務所別ニ作成スルコト
事業會社ノ本社等ニ於テ各工場事業場又ハ事務所ニ勤務スベキ學校卒業者ヲ採用決定スル場合ニ於テ申請書ヲ取纏メ提出スルニ當リテモ各工場事業場事務所毎ニ申請書ヲ作成提出スルコト
- 七 申請書記載ニ脱漏等アルトキハ再照會等ノ違ナキヲ以テ不利益ナル取扱ヲ受クルコトアルベキニ付特ニ留意スルコト
- 八 今回認可ノ申請ヲ爲スベキモノハ明年三月卒業スベキ鑛工關係學校卒業者ノ使用員數ニシテ本令施行前ノ卒業者ノ使用ニ付テハ認可ヲ要セザルコト
- 九 認可申請ヲ爲サズ若ハ期日迄ニ申請書到着セザル場合ハ卒業者ヲ使用シ能ハザルニ至ルヲ以テ特ニ留意スルコト
- 一〇 學校卒業者ヲ使用スルニ至リタルトキ又ハ使用セザルニ至リタルトキハ速ニ學校卒業者使用届(又ハ解雇届)ヲ知事經由厚生大臣宛提出スルコト

彙報

- 九月七日發行「週報」掲載内容左ノ通り
週報第九十九號掲載内容
- 一 物價抑制策の強化 (商工省)
- 一 事變下の警察 (内務省)
- 一 江南江北の戦線動向 (陸軍省新聞班)
- 一 中南支を敵ふ海軍機の猛威 (海軍省海軍軍事普及部)
- 一 燈臺の話 (遞信省)
- 一 ハンガリーをめぐる中欧の情勢 (外務省情報部)

00472

05400

行旅死亡人

- 一 取扱者 長野縣更級郡眞島村長
- 二 昭和十三年八月十九日眞島村大字眞島村東沖地籍千曲川西岸ニ漂着セル死体發見ニ付假埋葬ニ附シタリ
- 三 本籍 住所不明
- 四 氏名 年齢 不明推定五十歳位ノ男
- 五 丈五尺二寸位頭髪五分刈位ト認メラル其ノ他腐敗脱落ノタメ詳細不明
- 六 着衣 白緋單衣木綿帶メリヤス 白ズロース
- 七 所持品 茶色革褸口一ヶ在中現金壹錢銅貨一枚銀色一本外紙片一枚

- 二 本籍、住所、身分、職業、氏名、年齢 不詳
- 三 推定年齢 十八歳
- 四 男女別 男
- 五 人相 身長五尺未滿中肉頭髪前高刈顔面稍長
- 六 遺留品 折下駄一足
- 七 死亡ノ區別 變死(頭蓋骨破碎)
- 八 發見ノ日時及死亡場所 昭和十三年八月八日午前五時頃南條郡湯尾村湯尾隧道内(南口ヨリ五十米程内方)
- 九 處置 身元不詳ニ付正規ノ手續ヲ了シ假埋葬ニ附シタリ

右心當ノ向ハ直接當該村長宛照會相成度

◎一 取扱者 福井縣南條郡湯尾村長

昭和十三年九月六日

麥實收高

本縣ニ於ケル昭和十三年麥麥作付段別及其ノ前年トノ比較ハ

本年作付段別

前年作付段別ニ比シ

大麥	三、三〇六町七段	三、一〇一町二段 (一割四厘) 増
中麥	四、〇二五町〇	三、一七町一 (七分三厘) 減
小麥	二、六二八町五	一、七八町三 (七分三厘) 増
燕麥	四町七	二町六 (二割三分八厘) 増
而シテ本年麥實收高ハ	四七、六一五石	

鳥取縣總務部統計課

ニシテ之ヲ前年實收高ニ比スレバ

大 麥 一、七七二石 (三分九厘) 増
 小 麥 七、六八五 (一割二分五厘) 減
 燕 麥 二、三一六 (七分一厘) 増
 一、二 (五割七分一厘) 増

尙前五箇年平均實收高ニ比スレバ

大 麥 一、二、三二四石 (三割四分九厘) 増
 小 麥 五、〇九四 (一割四厘) 増
 燕 麥 一〇、九五九 (四割五分三厘) 増
 一六 (九割四分一厘) 増

ナリ

以上ノ如ク本年ノ麥作付段別ハ前年作付段別ニ比シ大麥一割四厘ヲ増加シ、稈麥七分三厘ヲ減少シ、小麥七分三厘、燕麥一二割三分八厘ヲ各増加セリ。而シテ麥作付ハ秋分ニ於ケル天候不順ナリシ爲、多少播種遅延シタルモ、冬期間降雪量尠ク、且病蟲害等モ僅少ナリシニ加ヘテ春分ニ於ケル氣候概シテ適順ナリシヲ以テ稍良好ナル生育ヲ遂ゲタルモ五月中旬ニ於テ風害ヲ蒙リシト收穫期ニ於テ降雨持續シタル爲收穫高ニ於テハ前年ニ比シ大麥三分九厘ヲ増加シ、稈麥一割二分五厘ヲ減少シ、小麥七分一厘、燕麥五割七分一厘ヲ各増加セリ。

尙各郡市別次表ノ如シ 昭和十三年麥實收高

作付段別	實收高	増減	前年作付段別ニ比シ	前年實收高ニ比シ
		(△印ハ減)		

東伯郡	氣高郡			八頭郡			岩美郡			米子市			鳥取市			總數																
	小	大	稈	小	大	稈	小	大	稈	小	大	稈	小	大	稈	小	大	稈														
八五七町九	一、〇六町七	七二五町八	八五七町九	一、〇九七町七	一三八町三	二二七町六	四二七町六	六九町八	二二一町五	一四二町二	一六九町二	七八町四	四四町〇	一六四町三	四四町〇	三三〇六町七段	四、〇五二町〇	二、六二八町五	四町七	四七、六一五石	五四、〇二三	三五、一五七	三三	三一町二段	△三一七町一	一七八町三	二町六	一、七七二石	七、六八五	二、三一六	一一	
一〇、四六三	一四、九八五	八、五七八	一〇、四六三	一三、八四三	一、六八三	三、二一八	六、一〇二	八六八	三、〇四二	二、五七四	一、四七五	三、五四二	二、一四六	五三一	二、一四六	五八四	四七、六一五石	五四、〇二三	三五、一五七	三三	四七、六一五石	五四、〇二三	三五、一五七	三三	三一町二段	△三一七町一	一七八町三	二町六	一、七七二石	七、六八五	二、三一六	一一
六五町七	五九町二	八七町一	六五町七	三五町〇	一、一町一	八〇町九	一七町七	二町〇	三、〇町六	四二町九	一、一町九	四二町九	九町九	一町一	一町一	一〇町五	四七、六一五石	五四、〇二三	三五、一五七	三三	四七、六一五石	五四、〇二三	三五、一五七	三三	三一町二段	△三一七町一	一七八町三	二町六	一、七七二石	七、六八五	二、三一六	一一
八七八	六〇五	九二一	八七八	一、九三一	一、五〇	一、一五	四九三	二二	五、六四	二二四	二六〇	三二五	九四	七〇四	九九	一、七七二石	七、六八五	二、三一六	一一	一、七七二石	七、六八五	二、三一六	一一	三一町二段	△三一七町一	一七八町三	二町六	一、七七二石	七、六八五	二、三一六	一一	

西伯郡	燕麥			日野郡	燕麥		
	大	小	燕		大	小	燕
八一六町八	六一一町〇	一、〇五一町〇	町三	三六三町三	三四町三	一三七町九	四町二
一三、二四三	九、三一	一五、〇三八	三	五、二三八	四二二	一、六〇〇	二八
△	△	△	△	△	△	△	△
一町一	一七町〇	三〇町五	九六町三	六九町一	三町一	九町九	三町八
△	△	△	△	△	△	△	△
一	一、三〇三	九四九	一	八六二	九八	二二七	二五

備考 米子市ノ前年ノ數ニハ新合併村分ヲモ合メ比較セリ

人口動態一覽

昭和十三年七月分

鳥取市	米子市	岩美郡	八頭郡	婚姻		離婚		出生		死亡		不詳		差引
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
三	一九	三	七	一	三	二	三	三	三	三	三	一	一	△
三	二	三	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	△
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	△
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	△

氣高郡	東伯郡	西伯郡	日野郡	計	前年同月	
					前年同月	本年同月
二六	七〇	七〇	二六	三四	五〇九	三三
一	七	五	一	三	二	三
四五	一四六	一〇一	四	五〇〇	五〇六	四七三
五〇	二二	七九	四	九三	一、二二	九三
九五	二六八	一八〇	八九	五五	四三	四六九
六九	一九	二二	四	四〇	四六	四〇
四	一三	八三	四	一、四五	九〇	一、〇四五
二二	七	三〇	三	二七	三六	二七
一	二〇	四	一	二五	二四	二五
一	一	一	一	一	一	一
二	一七	一〇	五	四	三	三
△	一八	△	△	△	△	△

備考 表中 △印ハ差引減ヲ示ス ◎印ハ朝鮮民籍ヲ有スル者
 婚姻、離婚ノ組數ハ婚姻ニアリテハ他市町村ヨリ入リタル者及自市町村内ニ於テ離婚セル者ヲ掲グ
 者ヲ、離婚ニアリテハ他市町村ニ出タル者及自市町村内ニ於テ離婚セル者ヲ掲グ